

2021 年度事業報告書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人富士山測候所を活用する会

1. 事業の概況

寄付活動に法人全体で取り組み、その結果各種企業から個人までのべ 59 件、合計 1,855,244 円になった。また、2020 年度に行ったクラウドファンディングの支援者に種々のリターンを行った。

当 NPO による研究活動の資金として、一般財団法人 WNI 気象文化創造センター気象文化大賞およびアジア太平洋地域助成、JT 社 SDGs 貢献プロジェクトの支援を受けた。

また、特定非営利活動法人（2016 年 1 月 8 日認定：27 生都地第 1438 号）の認定の有効期間の更新のために東京都へ申請を行ない、審査を受け、認定の更新（認定特定非営利活動法人 3 生都管第 143 号、令和 3 年 5 月 31 日）をすることができた。

1.1 総合的運用事業

(1) インフラ関係

- 例年問題となる送電線については 73 号柱までを、小山町も利用する可能性があったため 4 月に点検確認した。また、山頂については、登山者が撮影した写真を入手し状況を確認した。確認したところ、山頂火口部において地中送電ケーブルのむき出し箇所が 3 つあった。過去写真を元に、どの程度の経年変化か概算し、修繕の方法および費用の算出について気象庁との協議を行いつつ検討した。
- 太郎坊の観測地点の整備を前年度に続き充実化し、タワーの利用などで通年観測の利用者増を図った。御殿場観測点においても、基本インフラの整備、メンテナンス環境の構築を行い、利用者の拡充を図った。

(2) 学術的・科学的事業

- 2021 年度はコロナ対策を施し、1 年ぶりに山頂における夏期観測を実施した。参加プロジェクトは、研究 17 件、活用 6 件、自主事業 4 件であった。コロナ禍における実施のため新規グループの呼び込みは行えず、学生公募も実施できなかったが、厳しい条件下においても最低限の観測事業は実施できた。
- 太郎坊・御殿場の両サイトにおいて初めて大学以外の企業グループ（青山シビルエンジニアリング）の参画が行われた。この 2 点において同社によって気象観測が実施され、安定した気象データの取得が行えるようになった。

(3) 環境教育事業

- 富士吉田市富士山レーダードーム館の大規模リニューアルに向けて、本 NPO から展示コンテンツの提供を行った。現在の NPO の活動も、同館を通して一般市民へ常時知らせる手立てを得た。

1.2 富士山環境研究センター運営事業

- 科学研究費補助金の申請機関として稼働するために、さらに新たな規程等の整備を行った。廣瀬勝己第一研究部長が 4 月に着任し、研究力の向上のため大学等で活躍した研究者の参画を促すため、新たなポストとしてシニアリサーチフェローを導入し、3 名の研究員を迎い入れた。また、1 名の特任研究員が着任した。原著論文数、学会発表数の増加がみられた。
- (一財) 新技術振興渡辺記念会より 2020 年度に受託した調査研究事業を引き続き実施するとともに、2020 年の山頂活動が不可能だったため未実施の「ガス濃度マッピング」などの事業に関して、2021 年度に行うことが同会で承認され、追加援助を得ることができた。

1.3 国際・国内シンポジウム開催事業

- 国内シンポジウム事業として、第 15 回成果報告会を 2022 年 3 月 5 日に南齋勉（静岡理工科大学）実行委員長、村田浩太郎（埼玉県環境科学国際センター）副実行委員長によりオンラインで開催した。13 件の発表があり、54 名の聴講者があった。印刷物として第 15 回成果報告会講演予稿集を作成し、講演者とクラウドファンディングのリターンとして対象者 160 名に郵送して配布した。
- 第 15 回成果報告会においてメディア関係者を講演者として招聘し、どのように本 NPO の活動をメディアを通して社会へ知らせるかなどの助言を得た。

1.4 出版情報発信事業

マスコミ等メディア（新聞、TV、ラジオ等）露出回数は 2021 年度は 55 件であった。特に大河内副理事長を中心とした、マイクロプラスチックに関する報道が注目されていた。長尾理事、藤井理事、鴨川専務理事による防災講座や地震火山予知関係のニュースはブログなどでのアクセス多かった。

- 一般市民を対象として会の活動状況を「わかりやすく」情報発信するため、資料の整備、ホームページの改善等を継続して実施した。また、SNS に関して、ブログ、インスタグラムに、2020 年 6 月からツイッターを加え、ホームページへのアクセス数を増加させた。また、2021 年 1 月からメールマガジンの発行を継続した。
- Zoom などの遠隔会議を併用して、歴史研究者、編集者、翻訳家など国内外の人文社会研究者も含めた「芙蓉日記の会」が活動範囲を広げた。特に野中家の資料の検討のみならず、測候所勤務者の記録などの収集にも努めた。

1.5 事業運営基盤の整備

- 事業運営を支える資金については、研究センター事業としての調査研究を昨年度の継続事業として(一財)新技術振興渡辺記念会より受託したほか、WNI 気象文化創造センターの研究助成(2件)を受けた。
- 雇用形態の多様化に対応し、在宅勤務を可能とする規定の整備を行って勤務の弾力化を図るため、テレワーク勤務体制の構築を進めた。また、東京都のテレワーク助成によってテレワーク用機器の拡充をめざした。事務局体制を見直し強化するとともに、各専門委員会の責任の下で業務執行することを目標に業務執行体制の見直し検討に入ったところであるが、実施にはまだ時間を要すると考えられる。
- コロナ禍のため、本 NPO でも Zoom を導入し、理事の参加がしやすい会議環境を整えた。その結果、週末や夜間の会議も開催が容易になったのみならず、会議の高い出席率を継続的に確保できるようになった。
- 山頂ケーブル剥き出しへの対応のために鴨川事務局長が気象庁企画課と協議を行った。また、長期的な問題解決のため、山頂庁舎有効利用検討委員会を開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	当該事業の (A)実施日時 (D)受益対象者の範囲 (B)実施場所 (E)人数 (C)従事者の数	
(1)総合的運用事業	A.インフラの構築と整備		
	ア. 山頂及び太郎坊・御殿場基地観測に向けた設営事前準備と事前ミーティングを実施し、安全ルール等について徹底を図った。	(A) 5/29 (B) zoom (C) 40名	(D) 一般研究者等 (E) 延 200名
	B.科学的・学術的事業		
	ア. 観測研究の実施支援		
	(1)コロナ禍ではあるが、感染対策をしつつ夏期山頂観測を実施した。	(A) 通年観測 (B) 富士山測候所 (C) 無人	(D)研究者・学生等 (E) 延 200名
	(2)太郎坊観測所を強化し8事業が観測を実施し、延120名が参加。	(A) 7月下旬から(一部、通年観測) (B) 太郎坊観測所 (C) 延120名	(D)研究者・学生等 (E) 延100名
	(3)新たに御殿場基地を利用し、御殿場市内での観測を開始した(4事業、延60名が参加)。	(A) 8月上旬から(一部、通年観測) (B) 御殿場基地 (C) 延60名	(D)研究者・学生等 (E) 延100名
	(4)助成事業「富士山体を活用する新しい雷観測手法の開発」(WNI気象文化創造センター「気象文化大賞」助成)を実施した。	(A) 8月中旬から(一部、通年観測) (B) 太郎坊観測所 (C) 延80名	(D)研究者・学生等 (E) 延200名
	イ. データ検討会		
今年の山頂・太郎坊・御殿場基地の観測結果を中心にデータ検討会を行った。	(A)12月18日 (B)Zoom オンライン (C)30名	(D)会員・一般 (E)30名	

	C.環境教育事業	
	ア. レーダードーム館リニューアルのためのコンテンツ提供および展示	(A) 3月 (D) 一般・市民 (B) レーダードーム館 (E) 1000名 (C) 100名
(2)富士山環境研究センター事業	D. 富士山環境研究センター運営事業	
	ア. 調査研究受託事業	(A) 通年 (D) 研究者・学生 (B) 太郎坊、大涌谷など (E) 10名 (C) 10名
	昨年度受託した1年半にわたる「富士山噴火予知のためのSO ₂ およびH ₂ Sの通年観測システム構築と登山道の濃度マップの作成」(新技術振興渡辺記念会受託事業)の一部を実施。2021年度に延長して実施する許可を得ている。短期の特任研究員を採用した。研究論文が増加している。	
(3)国際・国内シンポジウム等開催事業	ア. 第15回成果報告会	
	オンラインによる成果報告会を実施した。メディア関係者を講演者として招聘した。	(A) 3月28日 (E) 60名 (B) Zoom オンライン (C) 60名
(4) 出版・情報発信等広報事業	ア. HPによる情報発信	
	(1)Instagramでの写真投稿を続した。	(A)通年 (D)会員・一般
	(2)ブログを継続し、情報の補完を行った。	(B)事務局 (E)不特定多数
	(3)Twitterによる迅速な情報発信を行った。	(C)延10名
	(4)メールマガジンの発行を行った。	
	イ. 書籍、新聞、放送等による情報発信	
	メディア露出度を大幅に増大させた。	(A)通年 (D)会員・一般 (B)各地 (E)不特定多数

	(C)延 60 人
ウ. 会報誌、パンフレット等出版物	
(1)会報「芙蓉の新風」 Vol. 16 を発行した。	(A)1 月 1 日 (D)会員・一般
(2)英文パンフレット改訂版を発行した。	(B)事務局 (E)不特定多数
	(C)5 名
エ. 講演・プレゼン等	
① 講演（楠城理事、鴨川専務理事； 静岡県立大学グローバル地域センター）国際シンポジウム「防災×環境×SDGs	(A)2 月 11 日 (D)一般 (B)ウェブサイト (E)不特定多数 (C)2 名
② 招待講演（大河内副理事長； 生活クラブ生協静岡 志太支店、静岡県藤枝市）Web セミナー	(A)8 月 18 日 (D)一般 (B)ウェブサイト (E)不特定多数 (C)1 名

決算報告書

第17期

自令和3年4月1日

至令和4年3月31日

(特非) 富士山測候所を活用する会

東京都新宿区大久保2-5-5 中村ビル2階

活動計算書

[税込] (単位：円)

(特非) 富士山測候所を活用する会

自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日

	特定非営利活動に 係る事業	その他の事業	合計
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	1,524,000		1,524,000
賛助会員受取会費	423,500		423,500
【受取寄付金】			
受取寄付金	1,435,044		1,435,044
【受取助成金等】			
受取助成金	6,669,770		6,669,770
受取補助金	235,000		235,000
【事業収益】			
自主事業収入		44,736,157	44,736,157
【その他収益】			
受取 利息		51	51
雑 収 益		1,430	1,430
経常収益 計	10,287,314	44,737,638	55,024,952
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
労務委託費		9,653,474	9,653,474
人件費計	0	9,653,474	9,653,474
(その他経費)			
業務委託費		50,000	50,000
印刷製本費(事業)		179,465	179,465
旅費交通費(事業)		2,228,572	2,228,572
運搬費(事業)		13,355,878	13,355,878
通信費 (事業)		466,010	466,010
消耗品 費(事業)		1,924,321	1,924,321
外注委託費		1,460,965	1,460,965
し尿処理費		591,250	591,250
水道光熱費(事業)		3,045,297	3,045,297
送電線等保全費		2,294,600	2,294,600
地代 家賃(事業)		1,023,039	1,023,039
賃 借 料(事業)		329,547	329,547
減価償却費(事業)		597,486	597,486
保 険 料(事業)		371,414	371,414
諸 会 費(事業)		6,000	6,000
雑 費(事業)		719,764	719,764
その他経費計	0	28,643,608	28,643,608
事業費 計	0	38,297,082	38,297,082

活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

(特非) 富士山測候所を活用する会

自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日

【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	2,110,452	8,441,811	10,552,263
法定福利費	138,936	555,745	694,681
通 勤 費	193,490	773,962	967,452
人件費計	2,442,878	9,771,518	12,214,396
(その他経費)			
印刷製本費	12,762	51,048	63,810
旅費交通費	33,375	133,500	166,875
通信運搬費	118,938	475,755	594,693
消耗品 費	83,960	335,843	419,803
修 繕 費	68,640	274,560	343,200
水道光熱費	40,290	161,162	201,452
地代 家賃	416,603	1,666,413	2,083,016
賃 借 料	396	1,584	1,980
新聞図書費	100,000	400,000	500,000
諸 会 費	5,878	23,512	29,390
租税 公課	3,920	1,201,480	1,205,400
支払手数料	125,200	500,800	626,000
雑 費	68,872	277,031	345,903
その他経費計	1,078,834	5,502,688	6,581,522
管理費 計	3,521,712	15,274,206	18,795,918
経常費用 計	3,521,712	53,571,288	57,093,000
当期経常増減額	6,765,602	△ 8,833,650	△ 2,068,048
【経常外収益】			
経常外収益 計	0	0	0
【経常外費用】			
経常外費用 計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	6,765,602	△ 8,833,650	△ 2,068,048
法人税、住民税及び事業税		130,900	130,900
当期正味財産増減額	6,765,602	△ 8,964,550	△ 2,198,948
前期繰越正味財産額	24,592,177	△ 7,229,483	17,362,694
次期繰越正味財産額	31,357,779	△ 16,194,033	15,163,746

貸借対照表

(特非) 富士山測候所を活用する会
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和4年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	11,500
小口現金	133,583	預り金	94,183
普通預金	10,535,448	未払法人税等	135,100
現金・預金計	10,669,031	未払消費税等	1,185,800
(売上債権)		流動負債合計	1,426,583
未収金	2,560,931	【固定負債】	
売上債権計	2,560,931	修繕積立金	1,200,000
流動資産合計	13,229,962	固定負債合計	1,200,000
【固定資産】		負債合計	2,626,583
(有形固定資産)		正味財産の部	
構築物	4,200,000	前期繰越正味財産	17,362,694
機械及び装置	1,895,000	当期正味財産増減額	△ 2,198,948
什器 備品	3,807,944	正味財産合計	15,163,746
減価償却累計額	△ 6,092,910		
有形固定資産計	3,810,034		
(投資その他の資産)			
差入保証金	150,333		
敷金	600,000		
投資その他の資産計	750,333		
固定資産合計	4,560,367		
資産合計	17,790,329	負債及び正味財産合計	17,790,329

損 益 計 算 書

(特非) 富士山測候所を活用する会
全事業所

[税込] (単位: 円)
自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	1,524,000	
賛助会員受取会費	423,500	
【受取寄付金】		
受取寄付金	1,435,044	
【受取助成金等】		
受取助成金	6,669,770	
受取補助金	235,000	
【事業収益】		
自主事業収入	44,736,157	
【その他収益】		
受取 利息	51	
雑 収 益	1,430	
経常収益 計	55,024,952	55,024,952
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
労務委託費	9,653,474	
人件費計	9,653,474	
(その他経費)		
業務委託費	50,000	
印刷製本費(事業)	179,465	
旅費交通費(事業)	2,228,572	
運搬費(事業)	13,355,878	
通信費 (事業)	466,010	
消耗品 費(事業)	1,924,321	
外注委託費	1,460,965	
し尿処理費	591,250	
水道光熱費(事業)	3,045,297	
送電線等保全費	2,294,600	
地代 家賃(事業)	1,023,039	
賃 借 料(事業)	329,547	
減価償却費(事業)	597,486	
保 険 料(事業)	371,414	
諸 会 費(事業)	6,000	
雑 費(事業)	719,764	
その他経費計	28,643,608	
事業費 計	38,297,082	38,297,082
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	10,552,263	
法定福利費	694,681	
通 勤 費	967,452	
人件費計	12,214,396	
(その他経費)		

損益計算書

(特非) 富士山測候所を活用する会
全事業所

[税込] (単位:円)
自 令和3年 4月 1日 至 令和4年 3月31日

印刷製本費	63,810	
旅費交通費	166,875	
通信運搬費	594,693	
消耗品 費	419,803	
修繕 費	343,200	
水道光熱費	201,452	
地代 家賃	2,083,016	
賃借料	1,980	
新聞図書費	500,000	
諸会費	29,390	
租税 公課	1,205,400	
支払手数料	626,000	
雑 費	345,903	
その他経費計	6,581,522	
管理費 計		18,795,918
経常費用 計		57,093,000
当期経常増減額		△ 2,068,048
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 2,068,048
法人税、住民税及び事業税		130,900
当期正味財産増減額		△ 2,198,948
前期繰越正味財産額		17,362,694
次期繰越正味財産額		15,163,746

財 産 目 録

(特非) 富士山測候所を活用する会
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和4年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金	133, 583	
普通 預金	10, 535, 448	
みずほ銀行	(9, 948, 335)	
三菱UFJ銀行	(29, 209)	
ゆうちょ銀行	(103, 461)	
ゆうちょ銀行/受払口	(454, 443)	
現金・預金 計	10, 669, 031	

(売上債権)

未 収 金	2, 560, 931	
売上債権 計	2, 560, 931	

流動資産合計

13, 229, 962

【固定資産】

(有形固定資産)

構 築 物	4, 200, 000	
機械及び装置	1, 895, 000	
什器 備品	3, 807, 944	
減価償却累計額	△ 6, 092, 910	
有形固定資産 計	3, 810, 034	

(投資その他の資産)

差入保証金	150, 333	
敷 金	600, 000	
投資その他の資産 計	750, 333	

固定資産合計

4, 560, 367

資産合計

17, 790, 329

《負債の部》

【流動負債】

前 受 金	11, 500	
預 り 金	94, 183	
未払法人税等	135, 100	
未払消費税等	1, 185, 800	

流動負債合計

1, 426, 583

【固定負債】

修繕積立金	1, 200, 000	
-------	-------------	--

固定負債合計

1, 200, 000

負債合計

2, 626, 583

正味財産

15, 163, 746

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、一般会計基準 によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 無し
- (2) 固定資産の減価償却の方法 定額法によっています。
- (3) 引当金の計上基準
 - ・退職給付引当金
 - ・修繕積立金は収支状況に基づき、任意に引き当てをする。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 無し
- (5) 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

科目	総合運用事業	富士山環境研究センター事業	国際及び国内シンポジウム等開催事業	出版、情報発信等の広報事業	その他の事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	1,947,500	1,947,500
2. 受取寄附金	1,435,044					1,435,044		1,435,044
3. 受取助成金等 受取補助金	1,699,890 235,000	4,969,880				6,669,770 235,000		6,669,770 235,000
4. 賛助金						0		0
5. 事業収益	44,736,157					44,736,157		44,736,157
6. その他収益					1,430	1,430	51	1,481
経常収益計	48,106,091	4,969,880	0	0	1,430	53,077,401	1,947,551	55,024,952
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 人件費								
労務委託費	8,663,474	0				8,663,474		8,663,474
御殿場基地人件費	990,000	0				990,000		990,000
人件費 計	9,653,474	0	0	0	0	9,653,474	0	9,653,474
(2) その他経費								
総合運用事業費	0	0	0	0	0	0		0
受託事業原価	0	0	0	0	0	0		0
消耗品費	1,323,649	600,672	0	0	0	1,924,321		1,924,321
運搬費	13,287,848	68,030	0	0	0	13,355,878		13,355,878
通信費	362,350	103,660	0	0	0	466,010		466,010
外注委託費	204,000	1,306,965	0	0	0	1,510,965		1,510,965
印刷製本費	179,465	0	0	0	0	179,465		179,465
修繕費	0	0	0	0	0	0		0
し尿処理費	591,250	0	0	0	0	591,250		591,250
送電線等保全費	2,294,600	0	0	0	0	2,294,600		2,294,600
水道光熱費	3,045,297	0	0	0	0	3,045,297		3,045,297
賃借料	452,586	900,000	0	0	0	1,352,586		1,352,586
旅費交通費	1,220,183	1,008,389	0	0	0	2,228,572		2,228,572
減価償却費	516,918	80,568	0	0	0	597,486		597,486
傷害保険料	371,414	0	0	0	0	371,414		371,414
その他諸事業費	468,773	256,991	0	0	0	725,764		725,764
科学的・学術的事業	0	0	0	0	0	0		0
環境教育事業費	0	0	0	0	0	0		0
その他経費 計	24,318,333	4,325,275	0	0	0	28,643,608	0	28,643,608
事業費 計	33,971,807	4,325,275	0	0	0	38,297,082	0	38,297,082
2. 管理費								
(1) 人件費								
事務局人件費	0	0	0	0	0	0	12,214,396	12,214,396
(2) その他経費								
謝金						0	0	0
通信費						0	594,693	594,693
旅費交通費						0	166,875	166,875
荷造り運賃						0	0	0
水道光熱費						0	201,452	201,452
事務所家賃						0	2,083,016	2,083,016
賃借料							1,980	1,980
会議費						0	0	0
事務用消耗品費						0	419,803	419,803
備品消耗品費						0	0	0
修繕費							343,200	343,200
印刷費						0	63,810	63,810
損害保険料						0	0	0
新聞図書費							500,000	500,000
租税公課						0	1,205,400	1,205,400
諸会費						0	29,390	29,390
支払手数料						0	626,000	626,000
減価償却費						0	0	0
雑費						0	345,903	345,903
配分管理費						0	0	0
その他経費 計	0	0	0	0	0	0	6,581,522	6,581,522
管理費 計	0	0	0	0	0	0	18,795,918	18,795,918
経常費用計	33,971,807	4,325,275	0	0	0	38,297,082	18,795,918	57,093,000
当期経常増減額	14,134,284	644,605	0	0	1,430	14,780,319	-16,848,367	-2,068,048

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
無し		

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期減少額	期末残高	備考
富士山後継事業費補助金	0		235,000	
合計	0	0	235,000	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産					
構築物	4,200,000	0	2,657,760	128,520	2,529,240
機械装置	1,895,000	0	980,423	93,802	886,621
総合運用事業用什器備品	3,295,304	0	529,809	293,499	236,310
研究センター用什器備品	402,840	0	235,135	80,568	154,567
管理用什器備品	109,800	0	4,393	1,097	3,296
計	9,902,944	0	4,407,520	597,486	3,810,034
無形固定資産					
.....			0	0	0
投資その他の資産					
保証金	150,333		150,333		150,333
敷金	830,000	-230,000	0		600,000
計	980,333	-230,000	150,333	0	750,333
合計	10,883,277	-230,000	150,333	597,486	4,560,367

6. 借入金増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	期末残高
無し	0	0	0
合計	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	1,435,044	
活動計算書計	1,435,044	0
(貸借対照表)		
前受金	11,500	0
貸借対照表計	11,500	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- 事業費と管理費の按分方法

無し

- その他の事業に係る資産の状況

無し

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会
理事長 三浦 和彦 殿

定款第 15 条第 5 項の規定に基づき、2021 年度の計算書類とその付属明細書の監査、並びに理事の業務執行状況について監査した結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

理事会及び各種委員会の報告を受け、会計帳簿その他会計に関する重要な文書を閲覧するとともに、理事等から職務の業務執行状況の報告を受け、また、随時説明を求めてきました。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、貸借対照表、活動計算書は、法人の財産及び収支の状況の全ての重要な点において適正に表示している。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく表示している。

令和 4 年 5 月 16 日

特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会

監 事 佐藤 政博

